

「どうとんぼり神座」が奈良県の児童養護施設のこどもたちを招待する「子どもレストラン」を2023年3月8日に開催！

ラーメンレストラン「どうとんぼり神座」を展開する株式会社理想実業(所在地：大阪府大阪市北区、代表取締役社長：布施真之介)は、養護施設の児童の皆さんを「どうとんぼり神座」にご招待するイベント『子どもレストラン』を2023年3月8日（水）どうとんぼり神座大和高田店にて開催いたしました。

当社グループのどうとんぼり神座は、「人々に食べる喜びと安らぎの場を提供し、社会貢献していく」ことを理念に掲げ、ラーメンレストラン『神座』を全国に72店舗展開しています。特にこどもの貧困をなくしたいという想いがあり、神座の店舗がある地域に暮らす人たちとともに、その地域のこどもたちの貧困を支えていく、そういったプラットフォームに当社がなることを目指しています。

「子どもレストラン」は、その理念の一環として実施しており、当社発祥の地である奈良県の児童養護施設にいるこどもたちに、「神座のラーメンをお腹いっぱい」食べていただくための取り組みです。



• 来店したこどもたちの様子



みんなで楽しくアロマキャンドルを作りました

今回の「子どもレストラン」では奈良県の児童養護施設の子どもたち約35名が参加。どうとんぼり神座一番人気の「おいしいラーメン」や「お子様セット」など好きなメニューをお腹いっぱい食べて頂きました。「ラーメンが大好きなので今日が楽しかった！」「いつも食べる餃子より美味しい！」と大満足の様子でした。また、当日は当社グループの廃油回収業者である浜田化学様（兵庫県尼崎市）の協力のもと、廃油を使ったアロマキャンドル作りも実施し、ある子どもは「7月の誕生日に使うまで楽しみにとっておく。」と笑顔で語ってくれました。最後には子どもたち皆んなで「ごちそうさまでした」と元気に挨拶をしてくれました。

次回は、2023年4月8日（土）にどうとんぼり神座 鶴見店にて「こども食堂」の実施を予定しています。



招待した子供たちからお礼のメッセージ。

• これまでの取り組み

どうとんぼり神座はかねてより、支援が必要な子どもたちへの食事の提供を行ってまいりました。以前は養護施設に赴き、子どもたちにラーメンを提供していましたが、コロナ禍以降は施設周辺の店舗に子どもたちを無料で招待する「こどもレストラン」を開催し、食事の提供を行ってきました。直近では、2022年6月から7月にかけて、児童養護施設の子どもたちを対象に、奈良県の柏木店・大和高田店などで子どもレストランを開催し、累計159名の子どもたちを子どもレストランに招待いたしました。また、2022年11月には、大阪府の鶴見店にてこども食堂の開催、夏休み、冬休みには認定NPO法人キッズドアに協賛し、支援が必要な子どもがいる世帯に神座の店舗で無料で食事をお楽しみいただける「SDGsラーメンチケット」の配布を実施するなど、今後も継続して支援を行ってまいります。

• 【どうとんぼり神座（かむくら）とは】

神座は、創業者 布施正人が1986年に創業しました。

創業当時から看板メニューの「おいしいラーメン」は、フレンチレストランのオーナーシェフをつとめていた創業者が、1年半の歳月をかけて生み出した秘伝のスープに、たっぷりの白菜と豚バラ肉を加えてあみ出した、伝説のラーメンです。神座のスープは、限られたスープソムリエ資格を持つスタッフが、徹底的に味を管理しています。この「おいしいラーメン」の人気により、大阪・道頓堀に4坪9席からスタートした店は、1日500杯以上を売り上げる人気店になりました。現在は、東京・関西を中心に71店舗を展開しており、女性が一人で入っても、安心して食事ができるような明るく清潔な店内になっています。

株式会社理想実業のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/99943](https://prt看mes.jp/main/html/searchrlp/company_id/99943)